



平成26年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年4月23日

上場会社名 キヤノン電子株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7739 URL <http://www.canon-elec.co.jp/>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)酒巻 久  
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役経理部長 (氏名)石塚 巧 (TEL)03(6910)4111  
 四半期報告書提出予定日 平成26年5月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第1四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第1四半期	22,820	△1.8	1,931	△18.2	1,798	△34.1	1,553	△11.7
25年12月期第1四半期	23,241	△9.6	2,362	△8.0	2,728	△15.0	1,759	△17.8

(注) 包括利益 26年12月期第1四半期 1,318百万円(△42.5%) 25年12月期第1四半期 2,290百万円(△9.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第1四半期	37 36	—
25年12月期第1四半期	42 28	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第1四半期	93,836	74,019	78.6
25年12月期	96,013	73,953	76.7

(参考) 自己資本 26年12月期第1四半期 73,750百万円 25年12月期 73,678百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	30 00	—	30 00	60 00
26年12月期	—	—	—	—	—
26年12月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

なお、平成26年12月期の1株あたり配当金については未定です。

3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	100,000	2.0	11,000	11.4	11,000	1.1	6,800	△6.2	163 46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

なお、第2四半期連結累計期間の業績予想は行っておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年12月期1Q	42,206,540株	25年12月期	42,206,540株
26年12月期1Q	607,168株	25年12月期	606,626株
26年12月期1Q	41,599,640株	25年12月期1Q	41,600,558株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想ならびに将来予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、さまざまな要因の変化により、実際の業績は記述されている将来の見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

平成26年12月期の1株あたり配当金につきましては、当社グループを取り巻く事業環境は引き続き不透明であり、今後の市場動向を見据えた上で公表する予定であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成26年1月1日～平成26年3月31日)の経済情勢は、米国では個人消費の増加等、景気は緩やかな回復傾向にあり、欧州においては持ち直しの動きが見られます。中国の景気は緩やかに拡大し、世界経済全体としては一部に弱さが見られるものの、緩やかに回復しています。国内経済においては、個人消費の増加や企業の収益改善が見られ、回復基調が続いています。為替は、前期と比べ米ドル、ユーロともに円安傾向で推移しました。

当社グループ関連市場は、デジタルカメラ市場は前期を下回る状況で推移しました。ドキュメントスキャナー市場は、低価格、コンパクトタイプを中心に市場が拡大しました。情報関連市場は、企業の投資意欲に持ち直しの動きが見られたものの、業界内競争の激化により厳しい状況で推移しました。

このような中で当社グループは、世界トップレベルの高収益企業を目指し、経営全般にわたりムダ排除に徹底的に取り組み、利益体質の維持向上に注力してまいりました。また、全社を挙げた生産性向上活動、3R(リデュース・リユース・リサイクル)環境活動を積極的に推し進めてまいりました。これらの結果、当第1四半期連結累計期間の連結売上高は228億20百万円(前年同期比1.8%減)、連結営業利益は19億31百万円(前年同期比18.2%減)、連結四半期純利益は15億53百万円(前年同期比11.7%減)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ①コンポーネント

当セグメントにおきましては、デジタルカメラ用ユニットの積極的な受注活動を展開しましたが、厳しい状況で推移しました。コンパクトデジタルカメラ用シャッターユニットは、スマートフォンの普及の影響等による市場縮小の影響を受け、売上は減少しました。

レーザースキャナーユニットは売上が増加しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は116億63百万円(前年同期比5.9%減)、営業利益は14億68百万円(前年同期比7.6%増)となりました。

#### ②電子情報機器

当セグメントにおきましては、ドキュメントスキャナーは、昨年下半年に投入したimageFORMULA(イメージフォーミュラ)シリーズの新製品や低価格、コンパクトタイプの製品を中心として拡販活動を展開し、売上および販売台数を伸ばしました。ハンディターミナルは、流通業界や倉庫・物流市場など、新規市場の開拓に努めましたが、厳しい状況で推移しました。

レーザープリンターは堅調に推移しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は82億99百万円(前年同期比0.5%増)、営業利益は7億72百万円(前年同期比38.1%減)となりました。

#### ③その他

当セグメントにおきましては、情報関連事業において、サーバーやネットワークの構築等、インフラ関連やシステム開発・保守・運用案件の獲得に努めるとともに、業務分析サービス(ログマネジメント)、銀行向け情報システム(entrance Banking)等の既存ソフトウェアの受注活動を積極的に展開し、売上が増加しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は28億57百万円(前年同期比10.1%増)、営業利益は8百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は938億36百万円となり、前連結会計年度末に比べ21億76百万円減少しました。流動資産は546億95百万円となり、27億51百万円減少しました。主な要因は、現金及び預金の減少、受取手形及び売掛金の減少によるものです。固定資産は391億41百万円となり、5億74百万円増加しました。うち有形固定資産は353億2百万円となり、5億2百万円増加しました。

### (負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債は198億16百万円となり、前連結会計年度末に比べ22億43百万円減少しました。流動負債は174億26百万円となり、21億87百万円減少しました。主な要因は、未払法人税等の減少によるものです。固定負債は23億89百万円となり、55百万円減少しました。

### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は740億19百万円となり、前連結会計年度末に比べ66百万円増加しました。主な要因は、四半期純利益計上と剰余金の配当によるものです。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の76.7%から78.6%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績見通しにつきましては、平成26年1月28日に公表いたしました連結業績予想に変更ありませんが、実際の業績は、今後の様々な要因によって大きく差異が発生する可能性があります。今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には、速やかに開示する予定であります。

(連結売上高1,000億円、連結営業利益110億円、連結経常利益110億円、連結当期純利益68億円)

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	27,426	25,689
受取手形及び売掛金	23,883	22,712
リース投資資産	207	187
商品及び製品	1,166	1,164
仕掛品	2,887	2,875
原材料及び貯蔵品	98	97
繰延税金資産	447	630
その他	2,068	1,338
貸倒引当金	△739	△1
流動資産合計	57,446	54,695
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	14,248	14,248
機械装置及び運搬具(純額)	2,457	2,844
工具、器具及び備品(純額)	3,615	3,198
土地	13,784	14,483
建設仮勘定	694	527
有形固定資産合計	34,800	35,302
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	735	667
破産更生債権等	-	1,158
繰延税金資産	1,257	1,432
その他	882	877
貸倒引当金	△0	△1,158
投資その他の資産合計	2,875	2,977
固定資産合計	38,566	39,141
資産合計	96,013	93,836

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,329	13,265
リース債務	82	71
未払費用	1,476	1,100
未払法人税等	2,649	590
設備関係支払手形	54	3
賞与引当金	366	1,372
役員賞与引当金	40	6
受注損失引当金	33	45
その他	1,582	971
流動負債合計	19,614	17,426
固定負債		
退職給付引当金	2,056	1,992
役員退職慰労引当金	252	247
繰延税金負債	10	20
その他	125	129
固定負債合計	2,445	2,389
負債合計	22,059	19,816
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,969	4,969
資本剰余金	9,595	9,595
利益剰余金	59,561	59,867
自己株式	△1,071	△1,072
株主資本合計	73,054	73,359
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	221	121
為替換算調整勘定	403	269
その他の包括利益累計額合計	624	390
新株予約権	225	223
少数株主持分	49	46
純資産合計	73,953	74,019
負債純資産合計	96,013	93,836



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)
売上高	23,241	22,820
売上原価	18,363	18,143
売上総利益	4,877	4,677
販売費及び一般管理費	2,515	2,745
営業利益	2,362	1,931
営業外収益		
受取利息及び配当金	9	10
為替差益	276	-
その他	80	16
営業外収益合計	366	27
営業外費用		
為替差損	-	137
その他	0	22
営業外費用合計	0	160
経常利益	2,728	1,798
特別利益		
新株予約権戻入益	4	2
その他	0	-
特別利益合計	5	2
特別損失		
固定資産除売却損	1	0
特別損失合計	1	0
税金等調整前四半期純利益	2,732	1,800
法人税、住民税及び事業税	1,212	544
法人税等調整額	△242	△295
法人税等合計	970	249
少数株主損益調整前四半期純利益	1,761	1,551
少数株主利益	2	△2
四半期純利益	1,759	1,553

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,761	1,551
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	188	△99
為替換算調整勘定	340	△133
その他の包括利益合計	528	△233
四半期包括利益	2,290	1,318
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,287	1,320
少数株主に係る四半期包括利益	2	△2

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 3
	コンポーネント	電子情報機器	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	12,390	8,255	20,646	2,595	23,241	—	23,241
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	12	172	184	60	245	△245	—
計	12,403	8,427	20,830	2,655	23,486	△245	23,241
セグメント利益 又は損失 (△)	1,365	1,247	2,613	△21	2,592	△229	2,362

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主にソフトウェアの開発・販売  
ITソリューション等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 3
	コンポーネント	電子情報機器	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	11,663	8,299	19,963	2,857	22,820	—	22,820
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	10	199	209	48	257	△257	—
計	11,673	8,499	20,172	2,905	23,077	△257	22,820
セグメント利益	1,468	772	2,241	8	2,250	△318	1,931

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主にソフトウェアの開発・販売  
ITソリューション等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。